

○第132回遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：平成26年11月19日（水）14：00～16：01

議事概要：

（1） *Aspergillus oryzae* NZYM-SP 株を利用して生産されたアスパラギナーゼ

・継続審議となった。

\* アクリルアミド生成の起因となるアスパラギンをアスパラギン酸とアンモニアに加水分解する酵素であり、食品加工の際のアクリルアミドの生成を低減する加工助剤として利用されます。

（2） GLU-No. 6 株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム

・審議の結果、一部修正の上、評価書（案）を食品安全委員会へ報告することとなった。

\* 調味料として使用される食品添加物です。